

木素材の温もりと変化を楽しむ暮らし

造作収納は杉の継ぎ合わせ材を使うことで無垢材の素材感を残しつつ、コストを抑えることができます。無垢材の良さと丈夫さを兼ね備え、無垢材より反りにくいので造作家具に適しています。

さらにコストを抑えたものに「集成材」があります。木片を貼り合わせたものでつなぎの部分が多くなり、フィンガージョイントというギザギザな加工で長さをつないでいるので、費用は抑えられますが、ツギハギの見た目が気になるります。また、木片のタテもヨコもはり合わせる集成材はその分接着剤が多く必要ですが、継ぎ合わせ材は木材の長手方向にだけはり合わせているので接着剤は少なくなくて済み、集成材より環境やカラダにも優しいと言えます。

弊社では棚板やキッチンカウンターに、縦に木目を通った美しい杉継ぎ合わせ材を使っており、無垢板のフロアとも馴染みますので使い分けています。



1. 無垢素材ならではの経年変化を楽しむ

弊社のモデルハウスは杉無垢材のフローリングを使っています。

杉は足触りがよく、ゴロっと寝そべっても気持ちのいい、畳のようなフローリングです。柔らかいので足に優しいのですが、その分キズが付きやすくなります。多くのモノは新品が最も良い状態で年月が経つにつれて徐々に「経年劣化」していきます。しかし、無垢材の場合は年月の経過をプラスにとらえ、「経年変化」として新品には出せない味わい深さが生まれます。

ヌメ革のカバンが使っているうちに馴染んで色になるように、杉のフローリングも最初は杉の白っぽい部分と赤い部分がハッキリしていますが、徐々にコントラストが落ち着き、艶が出て色に変化していきます。

家族の歴史に寄り添い、時と一緒に刻んでいくのが杉無垢材のフロアです。

無垢材は生きています。表面に塗膜をつくるウレタン系の塗料は木の呼吸を妨げてしまい、本来の無垢材の良さが活かせません。無垢材には、調湿機能がありますので木の呼吸を妨げないよう、弊社では自然素材のオイル塗装(AURO)を施しています。

基本的なフロアのお手入れは水に濡らして固く絞った雑巾で拭き、年に一度ほどワックス掛けするときに状態が保てますが、使い込むと艶がでてくる杉の無垢材は、一般的なフロアと同様にそれほど神経質にならなくて大丈夫です。キズや汚れがどうしても気になる場合は、木目に沿ってサンドペーパーで表面を削る方法があります。また、凹みには水を含ませた布をあて、アイロンをかけると目立たなくなります。

ひと手間により、家を育てていくような喜びを感じられるのではないのでしょうか。





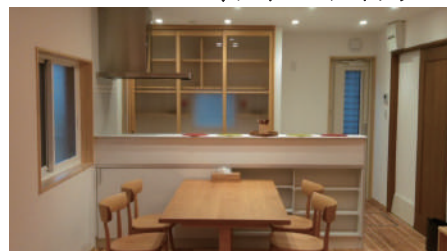
増築編

京都市北区紫野
A様邸
2022年 8月完成



↑造作テレビ台

↓ダイニングキッチン



現在の3階建住宅の隣にくっつける形で増築

現在お住まいの隣の家が売りに出され、今より住まいを広くしたいとの思いから数社にご相談されました。どこもお住まいの建物も古家と一緒に解体し、新たに建て替える案でしたが、弊社では増築を提案させて頂きました。

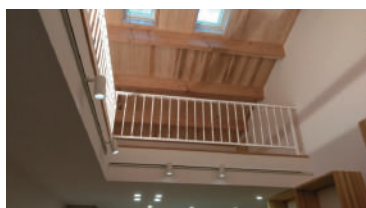
現在お住まいの家は築17年ほどですが丁寧にお使いになっていて解体してしまうのはもったいなく、増築の方がコストを抑えることができます。何より数ヶ月間、全ての荷物を引き上げて仮住まいをすることに夫婦とも抵抗をお持ちだったので、今の生活を守りながら新たな空間を増やすことを提案したのです。

建物はキッチン、リビング・ダイニング、トイレとロフトで構成された平屋です。天窗のある吹き抜けの空間は明るく解放感があり、1階に2ヶ所、ロフトの1カ所から既存の建物と段差無しで行き来ができます。

キッチン収納、テレビ台と飾り棚、靴入れを杉の継ぎ合わせ材でつくすることで杉無垢フローと調和がとれています。キッチン収納は家電や食器類など生活感の出るものを目隠しでき、FIX窓の光を取り込む半透明の上吊り三枚引戸を制作しました。ダウンライトやスポットライトなど間接照明のみで構成したくつろぎの空間で家族の憩いの場が広がりました。



くっついている外観↑



↑1階から見たロフト



↑造作した靴入れ、奥がトイレ



↑筋交いがスペースの間仕切りになります

これまでの弊社が施工した
リフォームの事例はHPよりご覧ください→



—完成・着工のおしらせ—

(2022年7月~2022年10月)

左京区松ヶ崎堂ノ上町 H邸：空調工事	2022年7月完成
北区小山板倉町 K邸：メンテナンスリフォーム工事	2022年7月完成
北区小山板倉町 K邸：床板修繕工事	2022年7月完成
右京区龍安寺西ノ川町 I邸：水まわり入替工事	2022年9月完成
北区紫野東舟岡町 O邸：エクステリアメンテナンス工事	2022年9月完成
北区紫野東舟岡町 A邸：増築工事	2022年9月完成
北区紫野上築山町 N邸：外部メンテナンス工事	2022年9月完成
北区紫野上柏野町 S邸：メンテナンスリフォーム工事	2022年10月完成予定
北区紫野西藤ノ森町 K邸：水周り入替工事	2022年10月完成予定

国産天然木の 大工手作りワゴン

サイドテーブルとして、
キッチンの収納に、
洗面台の下の収納にも

ストッパー無し：¥23,000 (税込)

買っていただいたお客様から、「天然素材の棚は一生ものだ」とのお声をいただいております。

マザーハウス石田工務店は、キッチンダイニングの設計施工を仕事の柱の1つとしている会社です。より多くの方に日本の木の良さと、使いごち、手づくり木工のあたたかみを知ってもらえればと思い、木製ワゴンを制作しました。

外形寸法：横幅330mm × 奥行き330mm × 高さ580mm(キャスター部分含む)
棚の内り：横幅280mm × ※奥行き298mm × 上段高さ220mm、下段高さ225mm
※棚前端の落下防止角材分を引いた寸法です

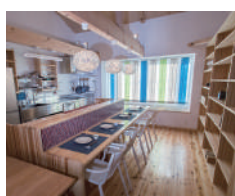
詳しくはHP商品ページをご覧ください

国産天然木の
大工手作りワゴン
を
販売
して
おり
ます

常設モデルハウス 京都 マザーハウス 紫野 へのご来場お待ちしております。

紫野東舟岡町15-18 マザーハウス紫野

第1・第3日曜日は10:00~16:00までオープン。
ご予約不要ですのでぜひお気軽にお越し下さい。
それ以外の曜日・時間帯は予約にて受付しております。
お気軽にご連絡下さい。



このモデルハウスは、ここち良さ快適さが、人がもつ五感(視、聴、臭、触、味覚)とどのようにつながっているかに着目し、日常の生活が、かけがえのない暮らしに昇華するようにとの思いでつくりました。天然木が生むここち良さと、食を通じて住む人の笑顔を育むキッチンダイニングの空間づくりをぜひご覧いただき、皆様のさまざまな住まい(リノベーション・リフォーム・新築)づくりにお役立て下さい。

発行 (社)住宅長期支援センター会員
(社)健康・省エネ住宅を推進する国民会議会員
関西電力はびろビルダー会会員

0120-296-481

つくろうしあわせいっぱい

マザーハウス 一級建築士事務所 株式会社 石田工務店

〒603-8228 京都市北区紫野東舟岡町55-1

E-mail: isco@wonder.ocn.ne.jp

https://isida.jp

マザーハウス石田工務店

検索

